

略歴

- 1951年糸満市生まれ。琉球大学法文学部卒。
- 県学童保育連絡協議会副会長。浦添市学童保育連絡協議会副会長など歴任。
- 浦添市議会議員(2期)。沖縄県議(3期)。
- 家族/夫・西銘勉(伊平屋出身)、長男・耕史、二男・亮、三男・健(浦添市議)

# あなたのくらしに希望を デニー知事と未来ひらく

私は3期12年、女性県議として浦添の願いを県政に届けてきました。私には9人の孫がいます。「新しい基地をつくらせないよ」「子どもたちの貧困をなくすよ」「希望と安心の浦添をつくるよ」と約束しました。私は「だれ一人取り残さない社会をつくる」とかかげる玉城デニー知事を「オール沖縄」でしっかり支えます。

県議、浦添島ぐるみ会議共同代表

# ニシメ

## 純恵

すみ え

### 日本共産党

### オール沖縄

①

事務所：浦添市宮城6-11-2回ソソ2F 電話098(870)8575

西銘純恵



# ガンバレ!ニシメ すみ え 純恵



●辺野古ゲート前行動で島袋文子さん、糸数慶子さんとともに



参院議員  
**伊波洋一**

安倍政治を許さず、デニー県政をしっかりささえる県議が必要です。そのために、**ニシメ**さんを必ず県政へ送ってください。



参院議員  
**高良鉄美**

**ニシメ**さんは「平和憲法」を守るという強い決意をもった政治家です。私が心から信頼できる県議です。



弁護士  
**伊志嶺善三**

法律事務所出身で、弁護士とも連携しながら、解決へ奔走する**ニシメ**さん。その活動は広く知られており、「市民の命綱」です。



かじまやクリニック  
前所長  
**山里将進**

浦添の特養老人ホーム建設へ、県議会で力になってくれました。党派をこえて応援できる医療・福祉の**ニシメ**さんです。



那覇市長  
**城間幹子**



オール沖縄会議  
共同代表  
**照屋義実**



衆院議員  
**照屋寛徳**



衆院議員  
**赤嶺政賢**



前参院議員  
**糸数慶子**



沖縄大学名誉教授  
仲間在任  
**平良研一**



元市議  
**比嘉愛子**

実現へ力をあわせませす

- 国の支援増で国保税引き下げ、介護保険の負担軽減を
- 子どもの貧困対策を強化し、医療費は中学卒業まで窓口無料に、県内進学にも返済不要の奨学金制度を
- 中小業者を支援して、最低賃金時給1千円以上へ
- 性暴力をなくし、ジェンダー平等社会の実現を
- 新型コロナウイルス対策を万全に
- 辺野古新基地ストップ、浦添軍港移設ノー、安倍9条改憲許さず、消費税5%減税で景気回復を

「オール沖縄」の**ニシメ**さんに期待します

沖縄民報

⑧

# デニー知事をささえ 「オール沖縄」の浦添のカナメ



●訪米し、中満泉・国連事務次長(国連軍縮担当上級代表)にも要請



●県議会で大浦湾の「軟弱地盤」を問題に



「オール沖縄」でぶれない  
**ニシメ**さんを、必ず県政  
へ送ってください。

玉城デニー後援会会長

**呉屋守将**

# ニシメ純恵



●辺野古行動にれいわの山本太郎氏も参加



「軟弱地盤」——工事強行の安倍自公政権を追いつめる

**ニシメ**さんは、新基地建設予定地が軟弱地盤であることなど、県議会で新基地許さぬ論陣をはってきました。

安倍自公政権は民意を無視

「浦添島ぐるみ会議」共同代表  
**新基地建設ゆるさぬ県議**

「辺野古移設断念など、建白書の立場で、心をひとつにがんばろう」——**ニシメ**さんは市民とともに、「浦添島ぐるみ会議」の結成をよびかけ、いま共同代表に。

辺野古に何度も足を運び、

爆音もひどい普天間基地は一日も早く閉鎖・撤去を」とくり返し求めました。

県民投票では、実施予算に反対する浦添市長らの妨害をはねのけて、新基地建設「反対」が7割をこえ、民意を示しました。

子どもの貧困対策や新基地建設問題など、  
困難に立ち向かう強い信念で行動する  
**ニシメ**さんは、県政になくってはならない  
女性政治家です。

沖縄県知事

玉城デニー





# 貧困なくし、子どもの未来ひらく 浦添ただ一人の女性県議 **ニシメ** すみ え 純恵



## 子どもの貧困なくす県議

**ニシメ**さんは、貧困のなかで育ちました。学生時代、アルバイトをして学資を稼ぎました。「貧困なくし、お金の心配なく、学ぶことができよう」とこそ、譲れない思いです。

「給食費が払えない63%、食事は学校給食だけ44%」——**ニシメ**さんは子どもの貧困の実態を示し、対策を求めてきました。

655人の高校生へ実施。デニー県政で非課税世帯の無料化がはじまります。

仲井真県政は「貧困調査を検討していない」と消極的でした。

### 返済不要の奨学金実現

あきらめず取り上げ続け、翁長県政で貧困調査を実施し、30億円の**子どもの貧困対策基金**が創設。

「高い学費で奨学金を借りたが、就職難で返済ができない」——**ニシメ**さんは仲井真県政のとき、返済不要の奨学金制度を求め、当時の教育長が実施を約束しました。この4年間で、県外大学へ進学する100名に**入学支度金30万円、月7万円(上限)**が支給されました。

### 10月から非課税世帯へ

**高校生のバス賃補助** くり返し求めた高校生のバス賃補助。翁長県政でひとり親世帯

## 「子宝」浦添の願い託せる お母さん県議

3人の子と9人の孫をもつ**ニシメ**さん。子育て苦勞がわかり、子どもたちを守るお母さん県議です。

### 子ども医療費無料化

「財政が厳しい」と言われても、**ニシメ**さんは県議会で何度も要求。厚生労働省に行き、窓口無料への国保補助を減らさないように要請。

### 子どもの無保険なくす

「18歳未満の子どもには、国保税を滞納しても無条件で保険証を渡して、病院にかかれるように」とただして、子どもの無保険をなくしました。

### カジノ予算ストップ

仲井真県政のとき、カジノ誘致へ予算が計上。**ニシメ**さんは「カジノは青少年への悪影響、ギャンブル依存症など弊害がある。税金投入は許せない」と反対。翁長県政から計上されず。

### 教員の正規雇用増やす

**ニシメ**さんは沖縄県の正規教員の割合が全国最低であることを問題に。この8年間で**正規教員が811人**増えました。

## 父母と支えあった学童保育運動は、ニシメさんの宝物

「かぎっ子にできない、仕事を辞めなければならないのか」——**ニシメ**さんは、若いとき子育てと仕事の両立に悩みました。長男が幼稚園に入園するとき、近所のお母さんと2人で、神森学

童クラブをつくり、3人の幼稚園児で始めました。資金作りへ新聞紙や空き瓶などを集めて、業者に売りにいきました。「学童へ支援を」と3人の我が子をかかえて市と交渉もしまし

た。市議会で夫(当時・市議)がとりあげ、2年がかりで学童へ市から補助ができました。11年間、学童保育の運動に携わり、浦添の学童クラブは全小学校区に広がりました。



▲第1回全県学童スポーツまつり(後列右2番目がニシメさん)

いつも全力投球の母 名古屋文化短期大学 教授・次男 **西銘 亮**

母はいつも全力投球の人。母は私たちの個性を尊重してくれた人。学童での遊びやキャンプなどの思い出は、今でも忘れない宝物です。

「ネイルUP」(ブティック社)で新進気鋭のネイルアーティストとして紹介される



▲中学生のとき、県子どもを守る会の善行表彰を受け本土旅行に招待(左から2人目)



高校・大学同級生  
(元教師)  
**佐久川廣子**

友達の悩みや困りごとに対して親身に相談にのり、一緒に泣き笑いしてくれる純恵をみながら、自身が大変苦労している人だから、人の痛みがよくわかるんだと、妙に納得したことを覚えています。

琉球大学の女子寮長として、大学側と交渉し、たとえ相手が大学のお偉い人であろうとひるまず、寮生の側に立った正論をわかりやすく主張する。この姿が今もいきていると思います。さらに活躍してほしい。

情は忘れられませんが、毎朝、寮生に声をかけ、困りごとの相談にのる寮長でした。



▲女子寮の仲間とともに(1列目左から6人目)

「業者が取り立てにきている」との電話にも対応しました。貧困のおもとに、政治があることに気づきました。相談者と苦労をともにしたことが、無料生活相談にいきています。

学生時代、ニシメさんは広島の原水爆禁止世界大会に参加。「核も基地もない平和な沖縄を」との思いを強くしました。沖縄の祖国復帰前に、瀬長亀次郎(故人・日本共産党元副委員長)さんを先頭に、県民が団結して立ち上がる姿に感動し、日本共産党へ入党しました。

核も基地もない沖縄へ政治にめざめはじめて

## 人の痛みがわかる 笑顔かがやく



# ニシメ純恵の青春

一生懸命働く母を助け「貧困なのはなぜ」

6人兄妹の長女として糸満市で生まれたニシメさん。

母がフリーニンプ店を営み、小学生のとき、一人でバスに乗って、その洗濯物を周辺の村までとどけていました。

朝起きた時も、夜眠る時も働く母。「一生懸命働いても貧乏

なのはなぜ」と思いました。

琉大で女子寮長  
寮生のよき相談相手に

ニシメさんは、高校、大学と奨学資金を受けました。大学ではアルバイトをしながら、学費をまかなっていました。

寮長となり多忙で、アルバイトが続けられず困りました。卒業した寮生が募金をして助けてくれました。今もその友

## 市議のときから 無料相談20年目

ご相談ください 電話098-870-8575

「ガンを患った。年金2ヶ月分で14万円ほど。医療費が心配。助けてください」「孫娘が歯が痛く泣いているが、お金がなくて病院に行けない」——相談者の苦しみに心を寄せ、政治の冷たさに怒りながら、親身に解決へあたっています。

住民の苦難軽減こそ、日本共産党の立党の精神。その立場でがんばり、「困ったことがあればニシメさん」と頼りにされています。



●西銘健、伊礼悠記、田畑翔吾の3市議と力をあわせて、無料生活相談を行っています。



女性の地位はまだまだ低い。ジェンダー平等はこれから。  
女性の悩み、思いがわかるニシメさんガンバレ。

**伊志嶺雅子**(前田在住)



いのちは平等です。必要な医療が受けられるように、国保・介護の負担軽減を求めるニシメさんを応援します。

**仲西常雄**(医師・宮城在住)

臨時教員の本採用や、採用試験35歳から45歳へ引き上げに尽力したニシメさん。働くものの味方です。



**宮城達**(元沖教組那覇支部委員長)



消費税10%はこたえる。5%に戻して景気回復をと訴えるニシメさんに期待。

**村濱興達**(業者)

私たちが苦しんだり、大変な時に、ニシメ相談所があるのは本当に心強い。

**青山恵昭**(内間在住)



カジノやギャンブル場誘致を許さぬために頑張ってくれた。子どもたちを守る県議です。

**比嘉悦子**(元幼稚園教諭・宮城在住)